

「見よ。わたしはすぐに来る。」

黙示録 22 : 7

■ 賛美について

私たちは日本各地の主の教会においてたくさん賛美をする集会を数多くしていきました。その賛美の中で神様が働いていることをまじかに見てきました。そして各教会集うクリスチャンたちも神様が遣わされた場所において神様を賛美することが大切であることを感じています。詩編 22:3「けれども、あなた（神様）は聖であられ、イスラエルの賛美を住まいとしておられます。」とるように、賛美をしている中に神様が働き、その場所の暗闇がなくなると信仰をもって歩んでいます。反対に賛美がない場所、すなわち神様の臨在しない場所にはアダムとエバが罪を犯して以降この地の支配者であるサタンの働くところになってしまっているのです。では私たちにできることは何でしょうか。そのために日々の生活の中で賛美をしていくことが大切になってきます。賛美の中には神様の臨在があるからです。

■ 宮清めの中での賛美について

マタイ 21 章にはイエス様が宮清めをした箇所があります。宮で商売をしていた人々を追いついてきた時に、イエス様についてきていた子どもたちが「ダビデの子にホサナ」とイエス様に向かって賛美をしていました。祭司長たちはその歌声を止めさせようとしてきました。しかし詩編 8:2「あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられました。」という言葉を用いてイエス様は止めないようにと語られました。これは特に子どもたちの賛美によって暗闇の力を打ち破られていることを意味しています。ですから教会で子どもたちと一緒に賛美をするということはとても大きな意味があるのです。これからも教会に集まった時には子どもたちと一緒に賛美をしていきましょう。なぜなら子どもたちは教会に与えられた神様の宝であるからです。子ども達の賛美を通してこの岡山の暗闇が打ち破られるからです。信じて進み続けていきましょう。

■ 見よ。私はすぐに来る

今日のテキストは黙示録 22:7「見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを堅く守る者は、幸いである。」というところです。まもなくイエス様が帰って来られるといわれています。その予兆について聖書に記されていることが方々で見聞きしてきています。地震、戦争、飢饉など、また愛が冷めていくとも書かれています。私たちの近くでも愛が冷めていき、人間関係においても愛が冷めてしまっているのではないのでしょうか。神様でしか解決できないところにまで問題が拡大しているのが今の世界ではないのでしょうか。

■ タイのチェンマイにおいて

昨年、タイのチェンマイにおいて賛美をしてきました。チェンマイは地方都市ではありますが、そこから更に川をさかのぼったところまで足を伸ばして賛美をしてきました。そこはのどかな田園ですが、貧しい現状があり、子ども達が売られてしまう暗闇があったり、子ども達が薬物の運び屋として使われてしまっているという現実がある地域です。その地域の子ども達と一緒に「プライエス（タイ語でイエス様）」と叫んで賛美している中で、子ども達が変わっていく姿を見ることができました。神様はどこにおいても賛美の中で現れて下さると感じました。賛美は地域を変える力を持っていることを体験することができました。

■ 「私（イエス様）は戸口に立っている」

この言葉はタイにおけるリバイバルミッションの中で語られた御言葉でした。「見よ。私はすぐに来る。」まもなく主が再臨さ

れることは理解していましたが、戸口の前に立っていて今やもう来られるのだという神様からの「せまり」でした。まもなく来られるイエス様を前にして何ができるのでしょうか。私たちの願いはこの地上が神の国のようになり、人々が互いに愛し合うようになることです。それは神様の臨在の中でしか現すことができないのであれば、いつでも、どこでも賛美をすることを通してこの地に神の国が訪れるようになっていきたいのです。私たちの働ける“時”というのは限りがあるのだと感じました。だからこそ賛美をささげ、この地の暗闇を打ち破っていきたいのです。賛美を神様へささげている中で、神さまと人とが交わるものなのです。それに加えて私たちが生活する場所で賛美をすることによって暗闇を打ち破っていくことにもなるのです。

■ 賛美の中の奇跡

私たちはリバイバルミッションの働きの中で賛美をすることによって神様の大きな力が顕されることを目の当たりにしてきました。ある教会は会堂の目の前に大きな海があり、大きな空との光景は美しいものがありました。その教会でリハーサルをしていた時、目の不自由な方だと知らずに一番前に座って聞いていた方がいました。そして何気なく今日は天気もよく、目の前に広がる光景は素晴らしいですねと話しかけました。そうしたら、その方は目が不自由なため見えないのだとの答えが返ってきました。そして賛美を続けていく中で急にその方が「親指が見える」と大きな声を上げました。もちろん親指だけが見えたのではなく、目が見えるようになって、神様の癒しを受け取ったのでした。

また、別の教会では心の病になった人が友人に連れられて賛美集会に連れられてきました。その方は賛美の集会后、CDを購入されて帰っていきました。それから3ヶ月後、別の場所で集会をする時にお礼をしに来られました。それはなぜかというところ、その方は心の病になっている時に賛美集会に出席したようです。賛美の中で何かものすごく引き付けられるものがあつたそうです。そして毎日朝昼晩とCDを聞き続けたそうです。そうしたら、次第に心が楽になってくるようになり、今は薬からも解放されたとのことだったのです。このように医療では改善が見られない領域において神様が働くことができれば、状況を変化させることができます。それが私たちの住んでいる地域から始まり市や町に広がり、そして岡山や日本全体に変化が起るのです。そのためにもまず私たちの生活圏で賛美をしていきましょう。たとえそれが一人であったとしても関係ありません。その賛美を通して神様が働かれるからです。リバイバルミッションでは“ZAWAMEKI”という賛美シリーズをリリースしています。現在12枚目のCDを制作しているのですが、制作するにあたって全世界的に活躍する素晴らしいミュージシャンが日本のリバイバルを祈りながら演奏してくれていました。彼らは賛美を通して世界に広がる闇を打ち破っていくように祈っているのです。このように世界のクリスチャンが日本のリバイバルのために祈ってくれているのです。

■ 私たちができることは・・・

私たちのしていること、考えていること、そして他人と比較の中で劣等感を覚えていることなどイエス様の前に出たらそれは本当に小さいことであると感じます。私たちはこの日本を根底から変えるために日々の生活の中で賛美しつづけるところからはじめていきましょう。そして私たち一人ひとりに与えられている使命を全うしていくためにも賛美をしつづけていきましょう。賛美には暗闇を打ち破る力があります。信じて歩いていきましょう。

(要約者:平澤 一浩)